

くまもと未来 がまだす宣言

メタ・マニフェスト

議員は誰しも夢をもっています。例えば「中心市街地活性化」、あるいは「福祉のまちづくり」・・・しかし、それをそのまま掲げてもマニフェストにはなりません。なぜでしょうか？

それを実現する権限がないからです。

首長と異なり、地方議員には予算提出権がなく、予算の修正すらまなりません。これでは、どれほど素晴らしい夢を熱く語っても、何の説得力もありません。

ならば、地方議員は何を「マニフェスト（約束）」できるのだろうか？・・・私たちの「がまだす宣言」は、この疑問に真っ向から取り組み、たたき出した一つの回答です。

一般のマニフェストは、政策目標のみを提示し、その立案と実現のプロセスは隠れています。私たちは逆に、「**政策を立案し肉付けし実現する、市民協働の仕組み**」を提唱したい。

市民主体の真の自治へのロードマップ。だからこそ「メタ（高次元）・マニフェスト」。

それは、以下2つの骨子から成り立ちます。

- プロセス革命——市民参画の仕組み
会派の重要な意思決定に市民アンケートや市民会議を義務付け、各議員の個別政策では、実現に向けたロードマップを付し、市民参画の道筋を明示しました。
- 民意反映の数値目標——自己改革すなわち政治改革
条例案提出本数・市政報告会開催回数・世論調査に基づく選挙手法の自己改革・・・
真の政策集団に生まれ変わるためのノルマ（数値目標）を、自らに課しました。

いずれも「自分たちの権限で実行可能」つまり「**確実に約束できること**」ばかりです。

驚くのは、そこまで絞ってもまだまだ手つかずの改革領域がいっぱいあること。

今、何よりも求められているのは、市民の間に「自分たちのふるさとを自ら治める」確かな手応えを復活させ、政治と行政への信頼を取り戻すことではないでしょうか。

私たちの小さな試みが、市民の皆さんや心ある政治家ならびに行政マンの魂に火をつけ、切磋琢磨を通じて、ますます優れた自治の仕組みが生まれ出ることを、切に祈ってやみません。